

Suma Tomogaoka 通信



兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部
令和3年度 第5号 3/23

令和3年度 総合学科発表会 開催される

【3年次 代表者発表】

3年次からは全体の代表者として1組の板谷君が「VR遠隔授業のすすめ」について研究発表を行い、6組の青木さんは3年次ということもあり大学受験期間中であるため、「高校生に臓器移植を知ってもらいたい」について録画での研究発表を映像として流しました。本校での学びの集大成である課題研究の代表者発表ということもあり、1年次、2年次生にとっては見ごたえのある、また自らの学びへとつながる発表になりました。



ポスターセッションの様子（総合学科発表会）

＜生徒の感想＞

- ・臓器提供という高校生には少し難しい話を高校生なりの視点から話すことでとても分かりやすく、意外と身近にあることなんだと思った。
- ・臓器提供の話聞いて、案外分けてもいいという人がいたので意外だと思った。
- ・VRの発表が凄くて、これからは研究していけば実用できると思った。
- ・VRゴーグルを用いた授業について、思わずアプリなどをメモしてしまった。話題が興味のある内容だったので、非常に良かった。

【2年次「課題研究」ポスターセッション】

2年次の「課題研究」では、各自でテーマを設定し、自分が立てた「問い」を探究してきました。この1年間の研究の集大成として全員がポスター発表し、質疑応答を行いました。参加者との対話を通して自身の研究への理解をより深め、最終的な論文の完成へのヒントを得られたと思います。また、1年次の生徒にとっては、来年度の課題研究のイメージを掴むきっかけになったようです。

＜生徒の感想＞

- ・みんなそれぞれ自分の研究に真摯に向き合っていることが伝わってきてすごく良かった。めちゃくちゃ大変だったけど、無事に発表していることが凄かった。自分と違う考え方や価値観を聴くことで、すごくためになったと思う。
- ・自分の発表の時も含め、一方的な発表ではなく、聞き手からの質問とそれへの返答、補足説明などがあったので、思っていた以上に充実した発表会になったと思う。
- ・私もこの前ブックレポートの発表をしましたが、2年生と比べるとやっぱりポスターや発表の仕方が全然違って、「やっぱり2年生は凄いな」と思いました。また、アンケートを取ったりと積極的に情報収集をしていたので、私も来年は参考にして積極的に行動したいと思います。
- ・先輩の発表を見て研究内容がさまざま楽しかったです。また、来年の自分にアドバイスとか下さり、自分はどんな研究をしようかと考えることができました。

【1年次「産業社会と人間」】

舞台では、6組の濱田優君と2組の西村唯香さんが、「産業社会と人間」の授業の目的や取り組んだ内容について、自身の感想や意見を交えて紹介した。また、職場研究の取り組みについては、6組の渡辺唯さんが「ミムラボ」、5組の向井楓さんが「白鶴酒造」を訪問し学んだことを発表した。

今回は体育館ステージの発表とあって、緊張感が観客席まで伝わってきたが、「産社」で培ってきた「自分の伝えたいことを伝える重要性」を意識した言葉選びや態度で発表することが出来た。展示ブースでは、前期産社委員による職場研究のポスターと、プレゼミのブックレポートで制作したポスター（各ゼミ代表作）が展示された。発表経験を重ねて、見る人、聞く人が分かる表現が身につけてきたことが、ポスター展示の中にも表れており、来年度以降もより磨きがかかることが期待できた。

【1年次 ブックレポート ポスター発表】

1月21日（金）の産社の授業では、プレゼミで取り組んできた学問分野研究のポスター発表を行いました。ブックレポートを書き、その内容をプレゼン用にポスターにまとめたものを発表しました。ポスターにも発表にもそれぞれ工夫の跡が見られました。発表は全ゼミから1、2名ずつ集まって行ったため、普段と違うメンバーの中で緊張している様子でしたが、堂々と発表していました。ポスターの優秀作は、総合学科発表会でも展示されました。

＜生徒の感想 発表して＞

○発表して

- ・ゼミ内で発表したときよりスムーズに進められたが、セリフを覚えきれず半分以上アドリブになってしまった。
- ・覚えていたのに原稿を読んだり途中で詰まったりと緊張しました。しかし言いたいことは全て残さず発表できて良かったです。

【1年次ブックレポート ポスター発表】 表面続き <生徒の発表より 感想>

○発表を聞いて

- ・発表の中に皆への質問があって考えさせられたのがよかった。
- ・始めに結論を言っていたのが分かりやすかった。
- ・話すことの構成がしっかり決まっていたので、スラスラと話せていたので分かりやすかったです。
- ・前を向いて指で指してどこを話しているのか分かりやすく、話し方もハキハキしていてプレゼンらしくてよかった。

【1年次「産業社会と人間」 授業便りと総括】

○2分間スピーチ

2月18日の授業で、2分間スピーチを行いました。この1年間の産社の授業を振り返ってのスピーチで、講演会、職場研究、プレゼミ、カタリバ等々、それぞれが学びのきっかけとなった取り組みについて自分の経験や将来像と合わせての発表となりました。クラス全員の前で原稿を見ずに発表した生徒も多く、産社最後の発表にふさわしいものになりました。

＜生徒の感想より＞



- ・産社の活動を通して感じたことをまとめると、どういったか力を身に付けたのか、これからしたいことは何なのか再確認できました。
- ・みんなのスピーチの発表を聞いて同じことをしていても違う意見があると分かった。
- ・クラスの友達の前だったのでとても緊張したけど、十分準備していたので自信を持って始めることが出来たし、自分の産社をしっかり発表できたので今までで一番良い発表になりました。
- ・発表を見ていて、この人はいっぱい練習したんだなあとか伝わってきたので、これから発表があるときはもっと努力して原稿を持たずに挑みたいです。



○「with… 若き女性美術作家の生涯」鑑賞会

今年度も1年次産社の締めくくりに「with…」を鑑賞しました。本校卒業生の1人の女性の生き方をテーマにした映画です。

1階ロビーに絵画が飾られていることは知っていても、誰がいつどんな思いで描いたものかをこの映画で知る生徒がほとんどだと思います。

映画を観ながら涙する生徒も複数いました。産社を学び、将来や社会について考え、発信していくことの重要性を知った今だからこそ、佐野さんの生き様が心に刺さった人も多かったようです。

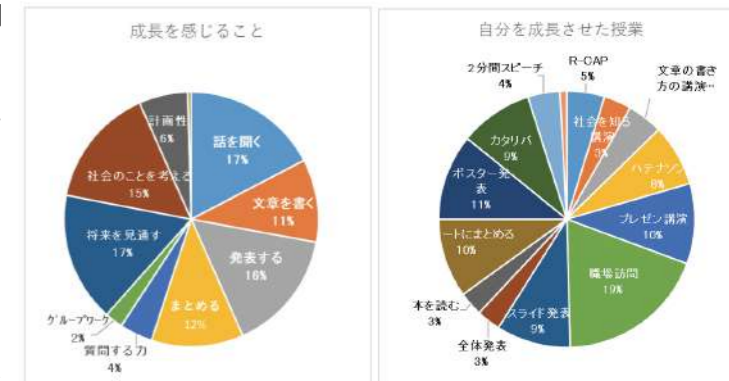


玄関ギャラリー 展示ブースより

＜生徒の感想より＞

- ・佐野さんはたった23年間の人生の中で、今生きている僕たちにたくさんを残してくれたと思う。今日これを見た中で何人の行動や考えが変わるのか、世界中の格差や貧困が解決されるようになるのかは分からないけど、少なくとも自分はその1人でいたいと強く感じた。
- ・私も絵を描くことが好きで、将来その方面の仕事に就きたいと考えているが、自分が楽しめれば認めてもらえばそれでよくて「誰かのために」という意思は無かった。佐野由美さんの生きる考え方や感じてきたことに触れて「誰かのために何かしたい」気持ちが当人や周囲の人を変え、動かすことが出来るのだと驚いた。
- ・佐野さんの言う「自分がいる期間、その物を必要としている人たちに自分が配ってもこの問題は解決されない」。本当にその通りだと思います。じゃあどうしたらいいのか、そこまでは分かりませんが佐野さんがネパールの子供たちに教えた紙工作の技術は、将来生徒たちの生きる術となってほしいと思いました。
- ・ネパールの問題は遠く存在だけに実感が湧かず目をそらしてしまうのも事実です。しかし、どれだけの当事者意識を持てるかが今も将来も大切だと思います。「誰かがやる」「自分にはできない」ではなくて「自分にできることがあるかもしれない」と考え、視野を広く周りを見て行動することが出来る人になりたいと思いました。
- ・作中で佐野さんが言った「優しい人になることはすごく簡単で誰でもできることだ。でも実際は一番難しいことかもしれない」は確かにそうである。ボランティア活動にいつでも参加できたはずなのに、私は一度もしたことが無かった。優しい人とは思っているだけではなれないもので、行動を続けていかなければならないのだと思った。そういう面佐野さんを見習いたいと思った。

○39回生の産社の授業が終了しました。最後に39回生に、1年間の産社の授業を通して自分が成長したと感じることや成長させた授業についてのアンケートを実施しました。2分間スピーチでも自分なりに1年を振り返って発表しましたが、項目を提示することで、より客観的に自分が出たようになったことに気づいたということが後述の感想から伺えました。中でも、「人前での発表にあまり緊張しなくなった。」「相手に伝わるように発表できるようになった」というコメントが多く、発表を繰り返すうちにコツを覚え、上手な生徒の発表を見て自分の技術をアップデートすることができたようです。また、活動を通して将来を考え、自分自身を見つめる機会も増えていました。活動を通して色んな面で成長できることが分かった生徒たちは、来年の課題研究を前向きに取り組めると期待しています。



＜生徒の感想より＞

- ・産社って何であるのだろうと思ってたけど、今となったら発表やまとめる力や話す力が上がっているのが自分でも分かるから1年間やってよかった。
- ・初めの方は感想文での漢字間違いも多く「D」を付けられるときもあったけど、産社を進めていくにつれて文章を書く力や読み解く力がついてきたと思う。1年間で学んだ力をこれからも忘れないようにしていきたい。
- ・はじめの講演会では色々なテーマのことをバラバラに聞いているのかと思ってたけど、プレゼンやポスター発表などすべてのことがつながっていて、フラグ回収されたみたいなのが驚きました。
- ・産社の授業は、正直、国語などの授業が減り他校の人よりも学力が劣ってしまうので必要ないと思っていた。でもどの産社の授業も他校では体験できない良い授業で、上のどちらの質問もとても迷った。これからも産社の授業で学んだこと分かったこと、気づいたこと知ったことを1つでも多く生かしていきたいと思った。